



飯野Iino Elementary School News 小学校だより

2020（令和2）年

6月19日

No.6

校長 原 裕

■ 第1回 学校運営協議会

16日、今年度初めての飯野小学校運営協議会を開きました。学校運営協議会は、保護者、地域住民、校長によって構成されています。本年度は、委員長に古市博信さん、副委員長に坂田恵子さん、委員に畑哲子さん、飯田清治さん、松田敬子さん、三好佐智子さん、中江薫さん、東亜希子さん、中西聡さんにお世話になります。

各委員は、学校と家庭・地域がともに子ども達を育てていく視点で、支援のあり方について意見を出したり、学校の取組について評価したりします。年間5回の開催を予定しており、今回は学校経営方針の承認と、登校再開後の子ども達の状況や取組について話し合いました。

☆ おもな協議内容 ☆

- * 授業を参観して、感染症拡大予防のための対策がとられ、活発に授業が行われていた。特に低学年の教室を中心に環境の整備が行き届いていた。
- * 児童アンケートを実施しているが、集計結果や具体的な取組内容を知りたい。
→ 例年4月と12月に実施し、取組の成果を見ている。今年度は6月に実施し、結果の取りまとめの途中である。今後整理して取組を示していく。
- * 臨時休業が3か月におよび、保護者からは授業の遅れへの心配と合わせ、塾等に行っている子どもと、そうでない子どもでの学力格差を心配する声がある。学力保障の取組について知りたい。
→ 休業中の子どもたちの学習には、ノートなどの点検を通して、取り組み方にばらつきがあることを把握している。特に基礎基本となる、漢字・ひらがな等の書き順や計算の手順などは、時間をかけて指導するようにしていきたい。
- * 「地域で子どもを育てる」という視点で、地域づくり協議会などが主体となった取組も今後考えていく必要がある。
- * 教職員の勤務時間縮減の説明があつたが、現実には厳しい状況ではないか。具体的に、何を縮減していくのかを示すとよいのではないか。
→ 行事の見直し、精選については、長期休校後だからこそ、教育的効果等を踏まえた精査が必要となっているので検討していく。



■ 児童アンケートの結果です

登校再開に合わせて、休校明けの子ども達の意識を把握し、学校の教育活動の取り組み方や支援のあり方などに活かしていくために、6月第1週に1年生を除く全ての児童にアンケートをとりました。学習や生活に関することなど、19の質問の結果をまとめましたので、学校だよりで連載していきます。今回は、学習に関する質問に関する結果です。

児童アンケート質問内容と結果

① 学校は楽しいですか。

→どの学年も9割近くが楽しいと感じている一方、1割弱の子ども達が否定的な回答をしています。全ての子ども達にとって居場所がある学校を目指して、取組をしていきます。

② 勉強は分かりやすいですか。 ③ 人の話をしっかり聞いていますか。

④ 自分の思ったことや考えたことを進んで発表していますか。

→高学年ほど、自分の考えを発表することに消極的な傾向があります。授業では、意欲的に自分の考えを伝えるために、順序立ててわかりやすく説明するための言葉や方法などが身に付くよう、全ての学年、教科で取り組んでいきます。

⑤ 読書は好きですか。

→図書館の整備や行事を充実させて、ボランティアさんなどにも協力をいただいで取り組んでまいります。また、家庭での読書についても取組を提案していきますのでご協力をいただきます。

⑥ 算数の勉強は好きですか。 ⑦ 国語の勉強は好きですか。

→算数、国語は全ての学習の基本となる教科ですから、日々、わかりやすい授業の工夫に取り組んでいます。本年度は各教室に視聴覚機器が設置され、子ども達が意欲的に学ぶ環境が整いました。大いに活用して、「わかった」「できた」喜びを大事にして進めます。

